

[基本教育科目/社会の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
経済と政策	NLA11_018	選択	2	1・2・3・4	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
波木井 昇	教員控室	kango	メールまたは Teams で質問等受付		
授業の目的・概要	社会的に重要な経済に関する主題や現代社会が直面する経済的な諸問題に関する知識を学習し、総合的に判断し対処する能力を養うことを目的とする。現代経済の見本的な概念と枠組みについて理解したうえで、経済問題の多様性を認識し、経済的な見方や捉え方、考え方を身に付けるとともに、現代社会における経済構造との関連性について理解することにより、現実の経済活動や経済現象に対する興味と関心を深める。適宜、経済に関する新聞記事などを参照する。Teamsを活用した遠隔授業を行う。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、メールと同時双方向型授業中に受け付ける。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	今までで一番やさしい経済の教科書 最新版/著:木暮一/ダイヤモンド社/2015年				
参考書	一番わかりやすい日本経済入門/著:塚崎公義/河出書房新社/2018年				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	現代社会の経済事象の現状を理解できる	HSU(2),NS(1)			
②	経済に関わる諸課題を理解できる	HSU(2),NS(1)			
③	経済統計を理解できる	HSU(2),NS(1)			
④	積極的に多くのことを吸収できる	HSU(5)(6),NS(2)			
⑤	自分の考えを適切に表現できる	HSU(5)(6),NS(2)			
⑥	経済事象について論理的に思考できる	HSU(5)(6),NS(2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	経済の全体像について学習する。	同時双方向型授業	経済の全体像について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
2	外国為替について学習する。	同時双方向型授業	外国為替について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
3	景気と需要について学習する。	同時双方向型授業	景気と需要について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
4	金融政策について学習する。	同時双方向型授業	金融政策について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
5	日本銀行の役割について学習する。	同時双方向型授業	日本銀行の役割について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
6	財政政策について学習する。	同時双方向型授業	財政政策について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
7	最近の経済政策について学習する。	同時双方向型授業	最近の経済政策について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
8	貿易と国際収支について学習する。	同時双方向型授業	貿易と国際収支について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
9	インフレやデフレについて学習する。	同時双方向型授業	インフレやデフレについて教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
10	国債や財政赤字について学習する。	同時双方向型授業	国債や財政赤字について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
11	税金と社会保障について学習する。	同時双方向型授業	税金と社会保障について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
12	資金運用について学習する。	同時双方向型授業	資金運用について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
13	企業財務について学習する。	同時双方向型授業	企業財務について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
14	海外経済について学習する。	同時双方向型授業	海外経済について教科書・Teams 掲載資料で確認する。	4	
15	日本経済の課題と展望について学習する。	同時双方向型授業	日本経済の課題と展望について Teams 掲載資料で確認する。	4	
試	レポート試験を行う。				

[基本教育科目/社会の理解]

		達成度評価					
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	0	0	60	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	20	30
	思考・推論・創造する力	0	15	0	0	10	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	15	0	0	10	25
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
問題を発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポート試験により、現代社会の様々な経済事象・問題・政策について理解しているか、自分の考えを的確に表現できるかを見る。				コメントをつけて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業内の対応や、毎回の授業の最後に提出してもらった課題により、授業の理解度、取り組み姿勢を見る。				授業内の質疑応答の中で質問に回答する(必要に応じて次回の授業の冒頭で補足の回答を行う)。課題に関してコメントをつけて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
<p>経済動向と国民の生活について関心のある方の受講を歓迎します。 Teamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨します。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある可能性があります。</p>							